

VISION

Rest Assured for Everyone
すべての人に安心を

MISSION

Change Hospital, Change Community
病院を変える、地域を変える

SPIRIT

「愛情・親切・丁寧」の実践

VALUES

確かな急性期医療で安心を
断らない救急医療で安心を



〒144-8501 東京都大田区西蒲田8-20-1
代表 03-6428-7500

医療連携室 03-6428-7510

連携室FAX 03-6428-7511

牧田総合病院
診療科



牧田総合病院
HP



9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日（土・日・祝日を除く）

MAKITA Magazine

Makita General Hospital
Bringing safety and trust to the town through collaboration that changes the hospital and the community
病院と地域を変える連携で 安心と信頼をこの街に

vol. 15

皮膚がん

Skin cancer

皮膚科は湿疹、薬疹、蕁麻疹、乾癬、白癬など非常に幅広い疾患を扱う分野です。

今回は“皮膚がん”をテーマにお話をさせていただきます。また“皮膚がん”が疑われたときに、
当院ではどのような流れで患者さんの診察を行っているのかもお伝えできればと思います。

皮膚がんとは

皮膚がんは、その発生母地により様々な病変を呈します。
今回は代表的な6疾患を示します。

毛包のがん化 基底細胞癌

角化細胞のがん化 日光角化症、ボーエン病、有棘細胞癌

メラノサイトのがん化 ... メラノーマ

があげられます。中でも日光角化症とボーエン病は表皮
内癌と呼ばれ、表皮内にとどまっている状態です。

皮膚科での診察

皮膚疾患は患者さん自身が見えることが最大の特徴です。
一番大切なのは経過です。いつ頃から、大きさの変化、治療
歴を伺います。痛い、かゆいなどの自覚症状が少ないことも多
く、湿疹と類似する例も少なくありません。
湿疹の治療を行ったが治らなかったということも重要な
所見です。



ダーモスコピー検査



ダーモスコプというライトが
付いた特殊な拡大鏡を用いて、
病変部の表面の詳細を観察し
ます。ほくろや血豆など一見皮
膚がん？と思われるものも、詳細な色調の観察ができるよう
になりました。ウイルス性疣贅、血管腫などにも有効です。

紹介率



当院における皮膚悪性腫瘍症例数

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
悪性黒色腫	0	0	2	0	2
胸部転移性皮膚腫瘍	0	1	0	0	0
転移性皮膚腫瘍	1	1	0	0	1
皮膚悪性腫瘍	3	10	30	29	30
パジェット病	0	2	0	0	0
基底細胞癌	21	16	9	22	16
皮膚癌	1	0	1	0	1
ボーエン病	3	13	2	6	7
有棘細胞癌	4	2	4	4	4
メルケル細胞癌	1	0	0	0	0
隆起性皮膚線維肉腫	0	0	0	1	0

臨床

ダーモスコピー所見



耳後部



生え際



胸部

基底細胞癌

高齢者、顔面に多い腫瘍です。小さいものは『ほくろ』に似ています。大きくなると中央が陥凹し、潰瘍形成することもあります。転移することは

ほぼないため、手術での根治がほとんどです。

毛包の
がん化

悪性黒色腫

皮膚のメラノサイトが癌化した腫瘍です。発生しやすい部位や形態により分類されています。

メラノサイトの
がん化



▲爪メラノーマ



▲左手メラノーマ



▲足趾メラノーマ



ダーモスコピー所見

メラノーマを疑う肉眼的所見

- A : Asymmetry 非対称性
B : Border irregularity 色素斑の境界がギザギザ
C : Color variegation ... 色調が均一でなく濃淡がある
D : Diameter > 6mm 色素斑の直径が6mm 以上
E : Evolution 色素斑の拡大や変化

角化細胞の
がん化

日光角化症

長期間の紫外線曝露が原因となり、高齢者の日光露光部に好発します。顔面、高齢男性の頭部に生じやすいです。鱗屑痂皮を付着した紅斑を生じ、“湿疹”と非常に似ています。

有棘細胞癌

好発部位は頭頸部が最多です。前述の日光角化症、ボーエン病が進展して生じることもあります。他に熱傷瘢痕、慢性放射線皮膚障害なども発生母地になります。



臨床



頬

ダーモスコピー所見

ボーエン病

下肢、体幹、上肢の発症が多い疾患です。HPV 感染、多発性ではヒ素を含んだ井戸水の摂取が誘因になることもあります。鱗屑痂皮を付着した不整形の紅斑局面を認めます。こちらも“湿疹”と類似しています。



▲左前腕

▲上腕

まぎらわしい疾患例



貨幣状湿疹



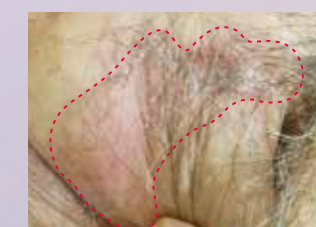
尋常性乾癬



体部白癬

乳房外パジェット病

高齢者男性の陰部にみられることが多いです。自覚症状の少ない紅斑、周囲の白斑などから始まり、徐々に拡大します。湿疹や真菌症として加療され、気づかれないこともあります



▲乳房外パジェット病



▲乳房外パジェット病

皮膚科

形成外科

形成外科での生検・手術

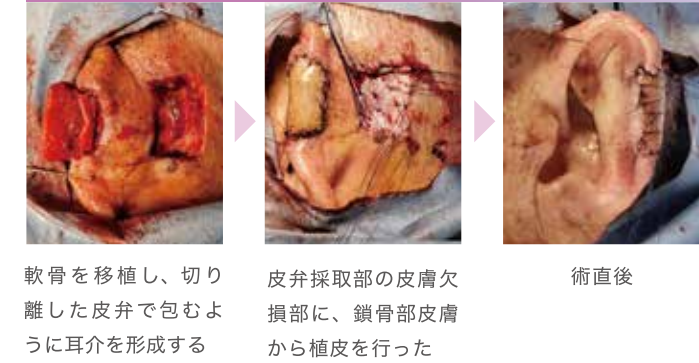
ダーモスコープ検査により、ほくろや色素斑の詳細が以前より把握しやすくなりました。
しかし全てをダーモスコープで確定診断ができるわけではありません。生検と病理検査が必要なこともあります。当院では必要に応じて形成外科に依頼し、生検および手術を行っています。

耳介 有棘細胞癌

1 回目手術 腫瘍の切除と皮弁作成



2 回目手術 腫瘍の切除と皮弁作成



3ヵ月後

内眼角部 基底細胞癌

1. 部分生検後



ダーモスコープで基底細胞癌を疑ったため、まずは部分的な組織生検を行って基底細胞癌の確定診断を行った

2. 腫瘍切除直後



3～5mmマージンで腫瘍を切除し、人工真皮を貼付した。病理診断で腫瘍が全て取りきれたと確定してから再建手術を行う

3. 再建術



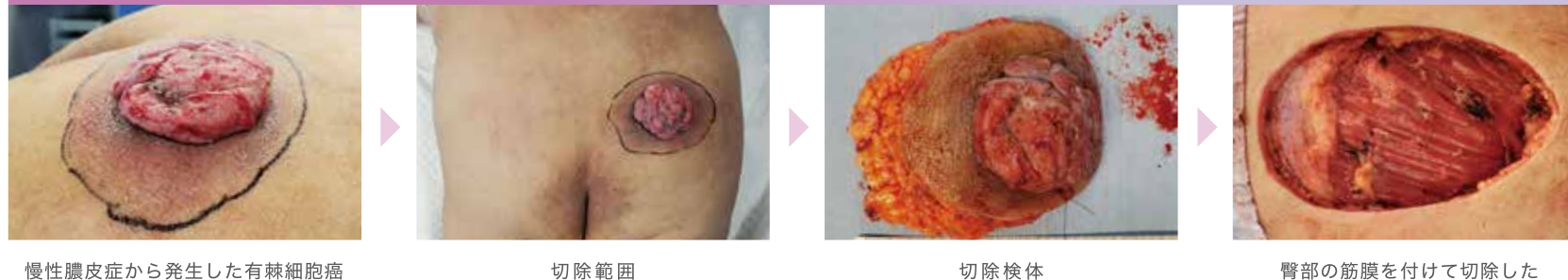
再建後15ヵ月

基底細胞癌の再発も認めない

エスティックユニットに沿った瘢痕のため、傷は目立ちにくい

臀部 有棘細胞癌

1 回目の手術



2 回目の手術 センチネルリンパ節の生検と大腿部からの分層植皮術で再建を行った。



色素法と蛍光法によるセンチネルリンパ節の生検を行い、リンパ節に転移があるか組織学的に判断する
組織学的にリンパ節転移は陰性だったため、リンパ節郭清は行っていない

分層植皮術後の写真。大腿部から12分の1000インチで採皮し、1.5倍にメッシュ加工を行った